

ジンシャリ

盆美ニュース JINSHARI



さいたま市

大宮盆栽美術館 vol.17

2016.1



お知らせ

第8回世界盆栽大会(平成29年4月27~30日)がさいたま市で開催されます!

「ジンシャリ」とは?

歳月を経た松柏盆栽は、幹や枝の一部が枯れて、そのままの形を残すことがあります。枝は「ジン(神)」、幹の部分は「シャリ(舍利)」と呼ばれる、盆栽の見どころのひとつです。ニュースレター「ジンシャリ」では、大宮盆栽美術館の見どころを紹介していきます。



平成 27 年度春季特別展

大宮盆栽村の歴史展Ⅲ 世界のBONSAIへ 1945-1989



第1回世界盆栽大会で寄せ植えの
デモンストレーションをする加藤三郎(左端)

1925(大正14)年に東京の盆栽職人により開村された、全国的にも珍しい大宮盆栽村の歴史を紹介するシリーズ展の第3回。一昨年の第1回展では、大宮盆栽村を特徴づける「樹種」「技術」「人」に焦点をあて、今日の〈大宮盆栽〉が誕生するまでの開拓史を紹介しました。また昨年の第2回展では、開村の際に尽力した清大園・清水利太郎の事績を通して、幕末から昭和戦前までの大宮盆栽村の歴史を跡づけました。

第3回展となる本展では、戦後の大宮盆栽村に焦点をあてます。戦後の大宮盆栽村は終戦の翌年に展覧会を開催し、また村内で研究座談会を催すなど、村を挙げて盆栽の復興にいち早く動き出しました。その中で九霞園・村田久造や蔓青園・加藤三郎、芙蓉園・竹山房造などは1964(昭和39)

年の日本盆栽協会の設立と運営に携わり、東京オリンピック(1964[昭和39]年)・大阪万博(1970[昭和45]年)での展覧会や第1回世界盆栽大会(1989[平成元]年)の開催へと、戦後日本の盆栽界を牽引していきました。

本展は、こうした戦後の大宮盆栽村の歴史を通して、盆栽がいまや日本を越えて世界のBONSAIとなった、そのひろがりの原点をたどるものです。きたる第8回世界盆栽大会(2017[平成29]年)を前にして、BONSAI文化の「聖地」とされる大宮盆栽村の戦後史を、残された資料や写真、映像を通して振り返ります。

開催情報

【主催】

さいたま市大宮盆栽美術館

【後援】

一般社団法人日本盆栽協会、大宮盆栽協同組合、埼玉新聞社

【会期】

平成28年2月19日(金)～3月30日(水)

【会場】

さいたま市大宮盆栽美術館 企画展示室

【展示構成】

① 戦後復興の歩み 1945～

② 国際化への道 1964～

③ 世界盆栽大会の開催へ 1978～

【出品点数】

歴史資料、写真、映像、その他。約30点。

展覧会スケジュール

企画展 「美術コレクション名品選・新規収蔵品展」

開催中 ～平成28年 1月20日(水)

当館所蔵の浮世絵版画等の美術コレクションより、冬からお正月の時季に合わせた作品や、新規収蔵品を中心に紹介します。

企画展 「〈盆栽〉の物語」

平成28年 1月22日(金)～2月11日(木祝)

古代中国の壁画から、昭和初年の大宮盆栽村の誕生まで、盆栽のたどった歴史を紹介します。

特集展示 「大宮盆栽村ゆかりの名品盆栽展」

平成28年 2月19日(金)～3月16日(水)

蔓青園・加藤三郎をはじめとして戦後の大宮盆栽村を代表する盆栽家の作品を紹介します。

企画展 「春の花ものの盆栽展」

平成28年 3月18日(金)～3月30日(水)

椿や桜、ボケ、レンギョウなど、移ろいゆく春の風情を可憐な花ものの盆栽で紹介します。



表紙の一枚 17

一抱えもある大きな石に五葉松を根付かせた、石付き盆栽の大作。根元から分かれた幾つもの幹が、豊かに枝葉を繁らせ、ひと際力強い幹が湧き上がる雲のような躍動感を感じさせます。ごつごつとした石の肌には、もみじやツタ、ヤマコウバンなどが寄せ植えにされており、深い山奥の情景を見るような趣をあたえています。

本作は、大宮盆栽村の蔓青園3代目園主・加藤三郎(1915[大正4]年-2008[平成20]年)の手による作品です。加藤は、寄せ植えや石付き盆栽といった「創作盆栽」を得意とした盆栽家として世界的にその名が知られています。戦後の大宮盆栽村は、加藤をはじめとした多くの著名な盆栽家を輩出しましたが、その背景には園の枠を超え盆栽の整姿技術・培養管理に励んだ歴史があります。今春の特別展では、企画展示室で大宮盆栽村の戦後史を振り返りながら、同時にコレクションギャラリーでは加藤をはじめとした今日の〈大宮盆栽〉を築きあげた盆栽家の作品を通して、盆栽家それぞれの個性を紹介します。

A-102 五葉松 さいたま市大宮盆栽美術館蔵

トピックス

国際盆栽シンポジウム開催 世界のBONSAI文化——人はなぜひかれるか

近年、盆栽は世界の共通語BONSAIとして海外での発展は著しいものがあり、世界各地に地域特有の様々な盆栽文化を生み出しています。これは長年にわたり地道な活動を続けてきた日本の盆栽関係者の努力の賜物であり、大宮盆栽村はその中核を担ってきたといえるでしょう。その成果は、1989(平成元)年に大宮市(現さいたま市)で開催された第1回世界盆栽大会、そして2017(平成29)年にさいたま市で開催予定の第8回世界大会として結実しています。

今回のシンポジウムは、第8回世界盆栽大会を控え、その気運高揚のため実施します。高階秀爾氏による基調講演「日本人にとって美しさとは」では、自然と共に生きる日本人の美意識について、さまざまな角度から講演して頂きます。それに続くパネルディスカッションを通して、盆栽の著しい国際化の中で、盆栽村を中心にした日本の盆栽のあり方や盆栽美術館の役割とともに、盆栽文化のあるべき将来像を描いてまいります。

平成28年**2月11日(木祝)** 13:00～16:30

会場:よみうり大手町ホール(東京都千代田区大手町1-7-1)

主催:さいたま市(さいたま市大宮盆栽美術館)

後援:日本盆栽協会、日本盆栽作家協会、世界盆栽友好連盟、読売新聞社、日本経済新聞社、埼玉新聞社、NHKさいたま放送局、テレビ埼玉、JR東日本大宮支社、東武鉄道、埼玉県、日本政府観光局、さいたま観光国際協会(順不同)

定員:400人(先着順) 費用:無料

申込期間:受付中～平成28年1月25日(月)

申込方法:申込期限(必着)までに、直接又ははがきで、イベント名、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入の上、〒104-0028 東京都中央区八重洲2-1-6八重洲kビル7F 国際盆栽シンポジウム受付係へ。当館HP(<http://www.bonsai-art-museum.jp/>)からも申込みいただけます。

問合せ先:国際盆栽シンポジウム受付係

TEL:03-6695-7157 Email:jimukyoku@bonsai-symposium.com

基調講演「日本人にとって美しさとは」

高階秀爾(大原美術館長、文化勲章受章者)
1932年東京生まれ。東京大学卒業後、フランス政府招聘給費留学生として渡仏。幅広い知識をもとに東西の美術を紹介している。東京大学教授、国立西洋美術館長等を歴任。著書、受賞多数。



狂言「盆山」公演



参考写真:さいたま市大宮盆栽美術館での「盆山BONSAI—屏風に息づく中世の盆栽」展公演より

パネルディスカッション 「世界のBONSAI文化——人はなぜひかれるか」

コーディネーター

石上城行(さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会委員、埼玉大学准教授)

パネリスト

高階秀爾(大原美術館長、文化勲章受章者)
竹山浩(日本盆栽協会顧問、大宮盆栽村「芙蓉園」園主)
山田香織(彩花盆栽教室主宰、大宮盆栽村「清香園」5代目)
エドアルド・ロッシ(イタリア エウガネア盆栽協会副会長)
桐島ローランド(写真家、映像作家)

コメンテーター

田口文哉(さいたま市大宮盆栽美術館学芸員)
(順不同)

盆栽実技

大宮盆栽協同組合の盆栽園の講師が、盆栽の手入れ方法を知識や実技を交えながら講義し、指導します。予約や費用は不要です。

日時:平成28年1月23日(土)
2月27日(土)
3月26日(土)
各日とも 13:30～15:00

盆栽ワークショップ

おもに一般の方々を対象に、この季節にふさわしい素材を用いて盆栽づくりを行います。

日時:平成28年1月17日(日) 真柏
2月21日(日) 姫しゃら
3月20日(日) 桜
各日とも 9:30～11:00、13:30～15:00
定員:各回とも13人
費用:2,500円



子ども向けワークショップ

- ① 真柏の盆栽づくり
開催日:1月24日(日)
- ② 蝦夷松の豆盆栽づくり
開催日:2月28日(日)
- ③ 春の寄せ植え盆栽づくり
開催日:3月27日(日)

時間:各日とも10:00～12:00

対象/定員/費用:

各日とも小中学生とその保護者/10組20人/1,500円(1組)



紫式部の盆栽づくり(平成27年10月)の様子

小・中・高生 盆栽相談デー

盆栽の手入れや管理についての小中高生とその関係者を対象とした相談会です。管理の仕方や全般的な指導を行いますので、相談したい盆栽をお持ちの上、直接会場へお越しください。予約や費用は不要です。

日時:平成28年1月10日(日)
2月14日(日)
3月13日(日)

各日とも9:30～11:30

対象:盆栽を持参できる小中高生とその関係者



*申し込み方法等、詳細は当館ホームページまたは市報さいたまにてご確認ください。

イベント スケジュール 2016

GT … ギャラリートーク 13時30分～ **実技** … 盆栽実技 13時30分～15時 **相談** … 盆栽相談デー 9時30分～11時30分
WS … 盆栽ワークショップ ①9時30分～11時、②13時30分～15時 ※ **子ども** … 子ども向けワークショップ 10時～12時 ※
 ※は要事前申込み
 … 企画展「美術コレクション名品選・新規収蔵品展」
 … 企画展「(盆栽)の物語」 … 特集展示「大宮盆栽村ゆかりの名品盆栽展」
 … 春季特別展「大宮盆栽村の歴史展Ⅲ 世界のBONSAIへ 1945-1989」 … 企画展「春の花もの盆栽展」

1 January	2 February	3 March
1 金	1 月	1 火
2 土 休館日	2 火	2 水
3 日	3 水	3 木 休館日
4 月 企画展 美術コレクション名品選・新規収蔵品展	4 木 休館日	4 金
5 火	5 金	5 土 GT
6 水	6 土 GT	6 日 GT
7 木 休館日	7 日 GT	7 月
8 金	8 月	8 火
9 土	9 火	9 水
10 日 GT 相談	10 水	10 木 休館日
11 月	11 木	11 金
12 火	12 金	12 土
13 水	13 土	13 日 相談
14 木 休館日	14 日 相談	14 月
15 金	15 月	15 火
16 土 GT	16 火	16 水
17 日 WS	17 水	17 木 休館日
18 月	18 木 休館日	18 金 企画展 春の花物盆栽展
19 火	19 金 春季特別展 大宮盆栽村の歴史展Ⅲ 特集展示 大宮盆栽村ゆかりの名品盆栽展	19 土 GT
20 水	20 土 GT	20 日 WS
21 木 休館日	21 日 WS	21 月
22 金 企画展 (盆栽)の物語	22 月	22 火
23 土 実技	23 火	23 水
24 日 子ども	24 水	24 木 休館日
25 月	25 木 休館日	25 金
26 火	26 金	26 土 実技
27 水	27 土 実技	27 日 子ども
28 木 休館日	28 日 子ども	28 月
29 金	29 月	29 火
30 土		30 水
31 日		31 木 休館日

ボランティア活躍中！

当館では、現在18名のボランティアが活動しています。活動内容は、さいたま市内小学校の見学案内、団体向けのガイド、当館や市内小学校での盆栽ワークショップの指導補助等を行っています。なかには、外国人来館者へ“英語”でガイドを行うボランティアもいます。昨年は、一年間で小学校18校、団体約3,300人のガイドを行いました。

世界盆栽大会へ向けて、団体ガイド、英語ガイド、盆栽ワークショップ指導と、みんなで力を合わせて頑張っています！館内でみかけたら、ぜひお声がけください。



さいたま市 大宮盆栽美術館
Bonsai Art Museum

電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分
 東武アーバンパークライン(野田線)「大宮公園駅」下車 徒歩10分
車利用 首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口より約6km
 東北自動車道「岩槻」出口より約9km
 駐車場：一般車両39台(2時間まで無料)
 大型車3台(860円)、障害者用2台(無料)

開館時間 3月～10月 午前9時～午後4時30分
 11月～2月 午前9時～午後4時
 (入館は30分前まで)
休館日 木曜日(祝日を除く)、年末年始、臨時休館日あり
観覧料 一般 300円(200円)
 高大生・65歳以上 150円(100円)
 小中学生 100円(50円)
 ※障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方一名は半額
 ※()内は20名以上の団体料金
 ※年間パスポート好評発売中！
 一般1,020円/高大生・65歳以上510円/小中生300円
発行 さいたま市大宮盆栽美術館

さいたま市
大宮盆栽美術館
 Bonsai Art Museum

<http://www.bonsai-art-museum.jp>
<https://www.facebook.com/OmiyaBonsaiArtMuseum>
 〒331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3
 TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323

